

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
「松代地区」

平成29年2月

長野県長野市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価					フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見			
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み	理由				改善策の方向性					
指標1	歴史的道すじの歩行者数	人/日	1,024	1,000	727	確定	見込み	△	あり	なし	●	●	743	H27.11月	△	歩行者数が減少傾向にあるなかで目標値の見込み推計が甘かった。 <input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	歴史的道すじの整備や歩道拡幅による歩行者空間の形成のほか、史跡などの保存整備によってまちの魅力が向上したことに加え、市民団体などによるまちあるきツールの製作、まちあるきガイドの養成、散策会の開催やまち歩きセンターの運営など、まちあるき観光の推進とPRによって来街者の回遊性の向上は見られるものの、全体的に歩行者数が減少傾向にあるなかで、目標値の見込み推計が甘かった。
指標2	松代藩文化施設の入館者数	人/年	465,384	470,000	452,211	確定	見込み	△	あり	なし	●	●	687,464	H28.4月	○	善光寺御開帳及び大河ドラマの特殊要因を活用した誘客事業の実施によって入館者数が大幅に増加した。 <input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	文化財などの保存整備による施設の魅力向上や各施設を結ぶ歴史的道すじの整備に加え、市民団体などが文化施設を活用した生涯学習交流事業などを積極的に実施したほか、善光寺御開帳時にはシャトルバスの発着場所である松代殿町駐車場において観光客をもてなす「松代マルシェ」の開催や大河ドラマ「真田丸」を活用した誘客事業では、上田市との広域連携による特別イベント「信州松代真田大博覧会」を開催するなど、地域と行政との連携による誘客事業を展開した結果、入館者数が大幅に増加した。
指標3	地区の道路整備に対する満足度	ポイント	54	59	54	確定	見込み	×	あり	なし	●	●	53	H27.9月	△	指標が包括的な道路整備の満足度を尋ねるものであったため、本事業以外の要因が評価値に大きく影響を及ぼし、目標を達成することはできなかった。 <input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	歴史的道すじの整備に加え、道路美化、電線類地中化、歩道拡幅のほか、地区内の通過交通を抑制する幹線道路の整備を進めるなど、地区内の道路環境の改善が図られたことには一定の評価が得られた。しかしながら、当計画で位置付けている民間幹線道路、生活道路の整備が不十分と感じる市民の割合が大きいことから、目標達成には至らなかった。
指標4	地区の街並み整備に対する満足度	ポイント	62	67	61	確定	見込み	×	あり	なし	●	●	62	H27.9月	△	指標が包括的な街並み整備の満足度を尋ねるものであったため、本事業以外の要因が評価値に大きく影響を及ぼし、目標を達成することはできなかった。 <input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	歴史的価値の高い史跡の保存整備や修景助成などのほか、歴史的道すじの整備、道路美化、電線類地中化事業を実施したことで、歴史と文化を活かした街なみの形成が図られたことには一定の評価が得られた。しかしながら、廃屋や空き地の増加、更には景観に不調和な建築物の増加に加え、歴史的建造物の消失など、地域全体としての取り組みが不十分と感じる市民の割合が多いことから、目標達成には至らなかった。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	松代まち歩きセンターの利用者数	人/年	7,520	11,980	確定				11,271	H28.4月	松代マルシェや信州松代真田大博覧会に観光客などが集中したほか、フンティエフの会場を旧金箱家に移したことで評価値に比べ利用者数が減少した。	■ 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	まち歩きセンターの運営に対して支援することで、観光客と地域住民との交流拠点としての機能が維持向上され、観光客などに対するおもてなしや観光情報発信のほか、展示会や体験交流イベントの開催、講演会や各種教室など、地域住民が主体となったまちおこし活動が積極的に展開されている。評価値に対して確定値は減少したものの、利用者数は増加傾向で推移している。
その他の数値指標2	松代観光案内所の利用者数	人/年	36,650	40,007	確定				41,008	H28.4月	-	■ 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	歴史的道すじの整備や修景助成などによる街なみの整備に加え、歴史的価値の高い史跡の保存整備によって城下町らしさが演出され観光地としての魅力が向上したほか、NPO法人や市民団体などによるまちおこし活動の取り組みが効果を発揮し「遊学城下町・信州松代」として全国的に知名度が高まるとともに、善光寺御開帳や大河ドラマを活用した誘客事業を実施した結果、観光客の誘客につながった。
その他の数値指標3	登録文化財の件数(累計)	件	55	80	確定				86	H28.4月	-	■ 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	歴史的建造物、庭園の調査研究を通じて、地域に埋もれた文化財の掘り起こしと保存啓発を推進した結果、地域住民の文化財などの保存に対する意識が向上し、歴史的街なみの維持向上につながった。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)	実施した具体的な内容①	実施した結果②	今後の課題 その他特記事項③	
・成果を持続させるために 行う方策	・旧金箱家の利用推進	市民による地元食材でのランチの提供や地元芸作家の作品展示など従来の文化財施設とは違った活用を行った。 施設の管理運営に指定管理者制度を導入し、民間の有するノウハウを生かした活用を進めた。	施設の目玉「ワンディシェフ」は毎回好評を得ているほか、指定管理者の創意工夫に基づいた運営によって、サービスの質の向上が図られ、当初の見込みを大幅に上回る来館者数を達成するなど新たな人の流れを生み出した。 H27来館者数: 15,827人	指定管理者との連携を強め、付加価値の高い事業を提案・展開して利用促進を図るとともに、地域活性化の拠点として施設の有効活用を図る。
	・歴史的文化財を活用したまちづくり及び観光振興	NPO法人や市民団体などが行う、まちづくり活動や観光振興事業に対して引き続き支援した。	NPO法人や市民団体などが、まちあるき散策会や文武学校、真田邸などの文化施設において武芸や文化の体験プログラムを実施したほか、真田邸での抹茶のおもてなしに加え、「松代マルシェ」や「信州松代真田大博覧会」などのイベント開催時には、関係団体がそれぞれの長所を生かした様々なコンテンツを提供したことで観光客の誘客、地域の活性化に寄与した。	体験プログラム、抹茶の提供とともに文化財を活用した観光誘客のモデルとして大きな成果があった。今後は、持続可能なコンテンツとして育成するため、体制の整備と安定した自主財源の確保に向けた検討が必要である。 「松代マルシェ」や「信州松代真田大博覧会」による松代地区の賑わいを一過性のものとはせず、継続的に観光客が訪れたいと思う観光地として熟成していくことが重要である。

改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	・地区内通過交通量の抑制	県施工の松代バイパス(長野真田線)の整備を支援(地元負担金) 松代城跡の第2期保存整備内容の検討に併せて周辺アクセス道路のルート検討	地区内通過交通を抑制する道路の整備が促進され、渋滞の解消や歩行者などの安全性が向上する。	コスト縮減を図りつつ早期完成、共用開始を目指す。
	・地区全体の賑わい、回遊性の向上	民間所有の歴史的建造物の保存整備を支援(大英寺本堂、長国寺開山堂) 旧文武学校の保存整備(H23~H31) 旧横田家住宅保存整備(H27~H32) 松代城跡の第2期保存整備(H28~H34) 松代西18号線外道路美装化工事(H27) L=112m	歴史的価値のある史跡などの保存整備に加え、道路美装化によって、歴史的景観の維持向上が促進され、観光地として魅力が高まったことで、まちの賑わい、回遊性の向上に寄与した。	地区全体の賑わい、回遊性の向上には、文化財などの保存整備と併せて周辺環境整備や地域住民などの取り組みが重要であり、長期的な歴史まちづくり方針(歴史的風致維持向上計画)のもと、関係機関や地元住民との協力体制を構築し、計画的な整備と持続可能な活用の促進を図る。
	・観光客を呼び込むための情報発信力の強化	ホームページや観光パンフレット、スマートフォン向けアプリ「信州松代まちあるきnavi」などのコンテンツの充実。 松代マルシェでの観光案内 信州松代真田大博覧会開催時における旧松代駅舎での臨時観光案内所や真田公園での仮設店舗の設置 観光親善大使として小松姫の任命や小松姫のオリジナルイラストをラッピングした自動販売機の設置 外国人向けのガイドブックや英語マップの作成のほか外国人観光客に対応するガイド養成 など	産学官民の様々な取り組みによって松代のPRを行った結果、観光客の誘客に寄与した。	産学官民のそれぞれの取り組みの連携強化を図るとともに、持続可能なコンテンツとして育成していくための体制整備が重要である。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項